

一般社団法人 埼玉県経営者協会会報



10・11 '13 月号

笠井氏(東日本電信電話株)取締役埼玉支店長)を理事並びに副会長に選任

―理事会、二五年度臨時総会開催―

十月二日(月)十四時より二五年度第二回理事会を、引き続き十四時三〇分より臨時総会をパレスホテル大宮で開催した。まず、理事会で臨時総会に諮る議事案件等をご協議いただき、その後、臨時総会を開催した。

一、理事の選任
理事候補者 笠井澄人(東日本電信電話株) 取締役埼玉支店長
二、副会長の選任
副会長候補者 笠井澄人(東日本電信電話株) 取締役埼玉支店長
その後、事務局より二五年度上期事業報告等が行われ、臨時総会は閉会した。また、臨時総会終了後、日本を代表す



開会挨拶をする西村会長



臨時総会



講演する熊谷亮丸氏



理事会

るエコノミストである(株)大和総研チーフエコノミストの熊谷亮丸氏より、「アベノミックスの評価と課題」今後の経済情勢とリスク要因を探る」と題して講演会が行われ、アベノミックスを検証しつつ、国内外のリスク要因について詳しい説明が行われた。(講演の骨子は以下の通り)
□講演の骨子
I. 「アベノミックス」は日本経済復活の起爆剤となるか?
①「アベノミックス」の中間評価…金融緩和の効果は着実に浸透
②金融政策…物価上昇率二%は達成できるのか?
③「アベノミックス」に対する二つの批判
〔長期金利上昇が景気に悪影響を及ぼす?〕インフレが進行するなか、雇用者所得が増加しない?〕は根拠が薄い。
II. 「アベノミックス」が抱える三つの課題
①「財政規律の維持」に失敗すると、「トリプル安(債券安・株安・円安)」が進行?
②「中長期的な経済体質の改善・構造改革」が不十分?
③「分配政策」には改善の余地
III. 日本経済のメインシナリオ
―日本経済は二〇二二年四月をピークに景気後退局面入り。ただし、二〇二二年十一月を底に景気は底入れ―
①米国経済の持ち直し
②復興需要+大型予算
③日銀による「異次元の金融緩和」
IV. 日本経済のリスク要因

- 〔生年月日〕
昭和三五年一月一日
- 〔学歴〕
昭和六〇年三月 上智大学大学院理工学研究科修了
平成二三年六月 スタンフォード大学経営大学院修了
- 〔職歴〕
昭和六〇年四月 日本電信電話株入社
平成二三年八月 東日本電信電話株設備部担当部長 企画部門設備企画担当エンジニアリング部門兼務
平成二六年二月 同ネットワーク事業推進本部設備部担当部長
平成二七年七月 同東京支店設備部担当部長
平成二九年七月 同総務人事部担当部長 (人事第二部門長)
平成二三年七月 日本電信電話株総務部門担当部長 (人事・人材開発)
平成二五年六月 東日本電信電話株取締役 役埼玉支店長



□笠井澄人(かさいすみと)氏
新副会長の紹介
①米国の出口戦略等に伴う新興国の動揺
②中国の「シャドーバンキング」問題
③「欧州ソブリン危機」の再燃
④地政学的リスクを背景とする原油価格の高騰
V. 金融市場の展望
①株高・円安基調は継続する見通し
②長期金利は中長期的に見れば大きく上昇する可能性

平成二五年度第五回トップセミナー

『模倣の経営学、偉大な会社はマネから生まれる』トヨタ、セブンイレブン、ドトール、スターバックスは、どのようにして他社の経営を学んだか』と題して、早稲田大学商学
 学術院教授 井上達彦氏が講演



講演する井上達彦氏

「この会社でも、どんなビジネスパーソンでも、お手本にした会社や経営者がいるはず。ビジネスの『イノベーション』やその立役者の『成功物語』に関わる書籍が溢れているのは、こういったニーズに応えるためのものです。」

しかし、優れた経営者が書いた成功物語であっても、『参考になった』という一言で終わってしまいます。読んだ直後は多少の刺激を受けたとしても、多くの場合、それをきっかけに情報源をたどり、自分の目で確かめるまでには至りません。結果、その書籍も自分の実践を変えるような存在にはならないのです。こうなると、せっかくの成功物語も何かを生み出す生産財というよりも、読ん

で楽しい消費財で終わってしまっているというケースが大半です。

しかし、優れた経営なわけですから、それを『お手本』にすれば、もともとと学べるはず。本気になればいくらでも手段があるわけですから、良い経営から倣うということをもっと突き詰める必要があるのです。」

平成二五年度第五回のトップセミナーは、九月二日(月)十四時からソニックシティ市民ホールにおいて、前述の主張を展開されている、早稲田大学商学学術院教授井上達彦氏を講師としてお招きし、『模倣の経営学、偉大な会社はマネから生まれる』トヨタ、セブンイレブン、ドトール、スターバックスは、どのようにして他社の経営を学んだのか』と題して演習を交えて開催され、八八名の方々が参加した。

講演のポイントは以下の通り。

- ◆模倣する企業は強い。
冷静に考えれば、マネをしている時期の企業は競争力が強い。逆に他社がマネをしているとこぼす側は落ち目であることが多い。
- ◆現在は、グローバル化と新興企業

の台頭、バリエーションのモジュール化、デジタル化とネットワーク化等、よくも悪くも模倣の時代となっており、模倣するまでのタイムラグも大幅に短くなっている。

◆マクドナルド、VISA、ウォルマートなどもイミテータであり、イミテータの投じるコストはイノベータの六〇〜七五％程度。イノベータはイノベーションの現在価値の二・二％しか獲得できないという調査もある。

◆模倣すると競争力が強くなる理由は、①競争への対応を図る、②イノベーションを実現するという二つの視点から見ると、模倣が有効だからである。

◆競争戦略としての模倣としては以下の三つの戦略がある。

- ①迅速追随・マクドナルドに代表される攻めの姿勢の模倣
- ②後発優位・コカコーラに代表される資源に裏付けられた模倣
- ③同質化・四〇〇万台クラブ(自動車)に代表される負けないための模倣

◆イノベーション戦略としては以下の二つの戦略がある。まずは、自らを高めるために、遠い世界から意外な学びをする、具体的には優れたお手本からインスピレーションを得て、独自の仕組みを築いていくような模倣である。もう一つは、顧客の便益のために、悪いお手本から良い学びをする模倣であり、具体的には業界の悪しき慣行を反面教師にしてイノベーションを引き起こすというものである。

◆以下、模倣について有力な経営者の持論を紹介する

①異業種の方が仕組みは見つけやすい(サイゼリア・正垣泰彦氏)

「紳士服チェーンや百円ショップなど気になったところは何でも見に行きます。料理と違って、経営の仕組みはどの業界からも学べます。むしろ、飲食とは全く異なる業界の方が、固定観念を持たずにみられる分、ヒントを見つけやすい」

②多面的に観察する(二トリ・似鳥昭雄氏)

「物事はすべて立体で、四次元で表されないと本質というのがわからない。一枚の絵を見たときに、その絵の奥行きはもちろん、その世界の空気や温度や時代背景までも観察する」

③反面教師、逆に見てみる(グラミン銀行ムハマド・ユヌス氏)

「貧しい人たちの銀行といっても、



演習も交え講演が進められた

目次 頁

○ 理事会・臨時総会開催	1
○ 第五回・第六回・第七回トップセミナー	2~4
○ 第五回・第六回特別セミナー	4~5
○ 第三回・第四回グローバル委員会	5~6
○ 第三回ウーマノミクス推進委員会	7
○ 埼玉大学特別公開講座第一講	6~7
○ 第二回働く女性応援講座・埼玉県労働セミナー(第四回)	7
○ 連載「この人」・企業紹介 小原歯車工業(株)小原敏治社長、広告	8~9
○ 第三四次小笠原洋上研修	10~12
○ 最低賃金(埼玉県、特定最低賃金)	13
○ 青年部九月例会、全国大会IN兵庫、新入社員フォローアップ研修	14~15
○ 埼玉大学研究者との出会いの広場	16
○ 連載「ものづくり大学」へようこそ	17
○ 地区会員企業のホットな話題 北部(オオッカハイテック)、中部(日本鑄鉄管)、南部(墨東建材工業)、西部(久邇カントリークラブ)	18~19
○ 埼玉県からのお知らせ 音協解散に伴う剰余金の埼玉県への寄贈、ワンポイント労働法の	20
○ 日本経団連 提言・提案	21
○ 事業だより、「自分の中の他人」、広告	22
○ 告知板、会員の動き	23

どのように運営したらいいかわからなかった。事業を開始するにあたって、私は他の人たちがどのように口イン事業を失敗しているかを調べ、彼らの失敗から学ぶことにした。一般の銀行のやり方をよく見て、あらゆることを逆に見てみたんですよ」

④ 敵を鑑と反面教師の両面でみる
〔アサヒビル・泉谷直木氏〕
「競争には勝負の面と学びの面とがあると思います。ライバルを競争相手としか見ていないのでは、お互い成長しません。敵を鑑として見ることができると、反面教師とすることもできるでしょう」

平成二五年度第六回トップセミナー

『日本のモノづくりの未来は明るい！世界が絶賛する『メイド・バイ・ジャパン』と題して、(株)盛之助代表取締役(前アーサー・D・リトル・ジャパニアソシエートディレクター)川口盛之助氏が講演

～障害者アートプレゼンテーションも併せて開催

平成二五年度第六回のトップセミナーは九月二四日(火)十四時より、ソニックシティ市民ホールにおいて、世界的な戦略コンサルティングファーム、アーサー・D・リトル・ジャパニアでアソシエート・ディレクターを務め、主に製造業の研究開発戦略や商品開発戦略などのコンサルティングを行ってこられた、現(株)盛之助

代表取締役川口盛之助氏を講師としてお迎えし、『日本のモノづくりの未来は明るい！世界が絶賛する『メ

イド・バイ・ジャパン』と題して開催され、四三名の方々に参加した。川口氏は技術&イノベーション育成のエキスパートであり、付加価値となる商品サービス機能の独自性の根源を文化的背景(サブカルチャー)と体系的に紐付けた極めてユニークな方法論を展開して世界から注目を浴びています。

また、Yahoo Japanの動画サイトで「世界の傑作プレゼンテーション・ベスト5」にも選ばれた軽快なトークと知的ユーモア溢れる講演で、好評を博しておられる講師です。

「日本の未来は明るい」と語る講師のお話を耳を傾け多くの方々に、明るさ、元気を与えることができた講演でした。

なお、トップセミナーに併せて障害者アートプレゼンテーション並びに障害者の作品展示も行われた。



講演する川口盛之助氏



講演風景



障害者アートの展示

平成二五年度第七回トップセミナー

『戦略的思考を視覚化した画期的なフレームワーク』ビジネスモデル・キャンバスを学び、そしてビジネスモデルを描いてみる』と題して、(株)インサイトリンク代表取締役社長でビジネスコーチ(株)パートナーコーチの河野龍太氏が講演

IBM、GE、インテル、エリクソン、シスコ、マイクロソフト、デロイトトーマツなど世界中の先進企業等で採用されている、戦略的思考を視覚化した画期的なフレームワーク『ビジネスモデル・キャンバス』。

このビジネスモデル・キャンバスは、世界四五カ国、四七〇人のインベーターが九年の歳月をかけて制作した、新しいビジネスモデルを創造するための実践ガイドです。日本でも昨年、翻訳書『Business Model Generation』が発売され、大きな話題を呼びました。

平成二五年度第七回のトップセミナー



障害者アートプレゼンテーション(工房集)



障害者アートプレゼンテーション(戸田わかき会)

ナーは、このビジネスモデル・キャンバスを理解していただくことをテーマに(株)インサイトリンク代表取締役社長でビジネスコーチ(株)パートナーコーチの河野龍太氏を講師としてお招きし、『戦略的思考を視覚化した画期的なフレームワーク』ビジネスモデル・キャンバスを学び、そしてビジネスモデルを描いてみる』と題して、一〇月一日(火)一〇時より一六時までソニックシティ市民ホールにおいて、ワークショップ中心のプログラムで開催され、二三名の会員が参加した。プログラムの内容は以下の通り。

ワークショップ



講演する河野龍太氏



ワークショップで描いたビジネスモデルワークショップ



□プログラムの内容

プログラム内容	ねらい
1) ビジネスモデルについて理解する -成功するビジネスモデルの共通点とは -ネスレの新事業のビジネスモデル	ビジネスモデルとは何かを理解する 成功するビジネスモデルのポイントを各要素を個別にはなく全体的な構造や仕組みとして理解する
2) ビジネスモデル・キャンパスを理解する -ビジネスモデル・キャンパスとは -ビジネスモデルを点検する7つの質問	9つのブロックでビジネスモデルを描く「ビジネスモデル・キャンパス」を理解する
3) 自社の既存のビジネスモデルを描く -ビジネスモデル・キャンパスで自社の現在のビジネスモデルを描く -自社のビジネスモデルの長と課題認識を共有する	「ビジネスモデル・キャンパス」を実際に使って、自社の既存のビジネスモデルを描く。現在の自社のビジネスモデルを構造的に「見える化」させ、メンバー間の共通認識を作る
4) ビジネスモデルのイノベーションを発想する -デザイン思考とは -プロトタイピングとは何か -4つのアクションフレームで発想する	デザイン思考の方法を学び、ビジネスモデルをイノベーションする仮説をグループに分かれて発想する

第五回特別セミナー

『経営者のための税制セミナー』開催

企業経営に大きな影響を及ぼす税制を取り巻く状況をみますと、内国税に関しては、個人所得課税、資産課税、法人課税等の平成二五年度の税制改正が行われ、また海外取引では、これまで税優遇で外国資本の誘致を進めてきた東南アジア各国が急速な経済成長を背景に、税増収源として移転価格税制の執行・強化の動きを加速させております。

MGインターナショナルのメンバーファームであるKPMG税理士法人パートナーの遠藤達也氏を講師としてお迎えし、「経営者のための税制セミナー」と題して開催した。

講演は、「平成二五年度税制改正」、「移転価格税制等海外進出に係る税務上の留意点について」の二つのテーマで行われ、三〇名の方々が参加した。



講演する遠藤達也氏

第八回特別セミナー

『経営者・管理者のための営業力強化講座』開催

企業の経営者、管理者にとって、自社営業力の強化は永遠のテーマであるとともに、足元の企業競争が激

化する状況下では、企業経営上、喫緊かつ最重要の課題であると言っても過言ではありません。



講演風景

こうした状況を踏まえ、平成二五年度第六回特別セミナーは、九月九日(月)一四時よりソニックスティイ市民ホールにおいて、(株)タナベ経営を代表する営業力強化指導コンサルタントである、同社東京本部本部長代理の岡田泰範氏を講師としてお迎えし、「経営者・管理者のための営業力強化講座」と題して、開催され、七五名の方々が参加した。講演の概要は以下の通り。

◆業績が上がらないケースとして一般的に①戦略そのものが誤っているのに、営業力の低さに全ての責任が押し付けられるケースと②戦略は間違っていないのに、営業力の未熟さから戦略そのものを誤りだと判断してしまうケースの二つが考えられる。ここで留意すべきことは、「戦略のミスは戦術ではカバーできない。しかし、戦術・戦術の結果でしか戦略の可否は判断できない」ということである。

◆「事業戦略」とはどんな市場に何を提供するのか、事業間の資源配分をどうするかということであり、「マーケティング」は市場と企業の対話により、戦略・戦術・戦術レベルで施策を最適化する手法。そして「営業」とは、顧客との人



講演する岡田泰範氏

的接点、またはそれを推進する部門・人・マネジメントのことと理解すべきである。

◆事業戦略展開の視点としては、軸足を持たない事業戦略は成功しない、そして提供する価値が特定のセグメント市場か、いずれかに軸を置いて事業を展開するということが重要である。

◆業績の悪い会社の共通点としては、
①過去の成功体験にしがみつきやり方を変えない、②営業部門が現在の営業手法に自信が持てない、③やり方がバラバラで個人勝負となつてるといった点をあげることができ。こうした会社では、営業に結果だけを求め、結果が出ないと「スキル」か「ヤル気」の問題で片付ける経営陣と業績があげられないことを環境や商品力のせ



営業力強化に対する経営者の関心の高さから七五名の参加者があつた

いにして言い訳に長ける営業部門という大きな問題点が存在している。

◆営業力強化の着眼点としては、以下の四点がポイントである。
①得意先フォロワーの優先順位
②時間配分の見直し
③受注までのストーリーの見直し
④営業活動管理・KPI（キー・パフォーマンス・インディケーター）の設定

第三回グローバル委員会

『投資先として再評価されるフィリピンの魅力』経済情勢・投資環境を踏まえて』をテーマにジェトロ・倉沢麻紀氏が講演

—「埼玉・セブものづくり人材育成事業」

についての説明会も開催

フィリピンは、インドネシア、ベトナム、タイに比べ賃金上昇率の低さと豊富な労働力、投資誘致機関による優遇措置などから、現在、日系企業の投資先として注目を浴びております。



講演するジェトロ・倉沢麻紀氏

◆営業力強化の着眼点としては、以下の五点がポイントとなる。

①商談の着地を明確に持つ
②勝てる土俵で勝負する
③商談の組み立てを見直す
④ロールプレイングの活用
⑤営業プロセス改善ステップ（状況の想定票作成→商談ストーリー作成→ロールプレイングの実施→ストーリー見直し定型化→小さな成功事例→水平展開）

ジェトロ海外調査部アジア大洋州課の倉沢麻紀氏を講師としてお迎えし、『投資先として再評価されるフィリピンの魅力』経済情勢・投資環境を踏まえて』と題して、九月五日（木）四時よりソニックシティ市民ホールにおいて開催され、二三名の方々が参加した。講演のポイントは以下の通り。

◆マクロ経済面をみると、産業ではサービス産業、需要項目別では個人消費が成長を牽引しており、今後六%を超える経済成長が予測される。

◆消費市場では、中間層が拡大し旺盛な個人消費を支えており、コンビニ、大型ショッピングモールな

どの業態が拡大している。◆企業動向としては、国別投資で日本はオランダに次いで二位となっており、業種別では製造業への投資が急増している。日本企業の投資の特徴としては、電子部品、医療製品に加え、IT・BPO産業への投資も目立って増加しており、進出企業の七割以上の企業が黒字を計上、業績は好調に推移している。

◆投資環境としては、労働力が豊富で人件費の上昇が緩い、英語でのビジネスが可能、そして消費市場としての潜在力が高いといった魅力があるのに対し、インフラ未整

第四回グローバル委員会 （第五回埼玉アジアフォーラム）

『ミャンマー経済の現状と展望』をテーマに開催

開催

平成二五年度第四回グローバル委員会は、一〇月四日（金）一三時三〇分より、埼玉県民健康センター大ホールにおいて、埼玉県との共催（第五回埼玉アジアフォーラム）で『ミャンマー経済の現状と展望』をテーマに開催され、一九五名の方々が参加



開会挨拶をする上田清司埼玉県知事

備、高額の電気料金、裾野産業の集積度の低さ等の課題も存在している。

なお、講演終了後、埼玉県民生活部国際課長矢島行雄氏より、『埼玉・セブものづくり人材育成事業』国際的産学官連携事業を通じた地域活性化』についての説明も行われた。



説明する矢島行雄埼玉県国際課長

した。今回のフォーラムは、まず上田清司埼玉県知事の主催者挨拶で始まり、続いて、ウイン・アウン駐日ミャンマー連邦共和国大使館公使の基調講演、その後、『ミャンマーの現状』中小企業の進出先としての可能性』



基調講演をするウイン・アウン公使

と題して、ジェトロアジア経済研究所主任調査研究員工藤年博氏より講演が行われた。

休憩の後、パネルディスカッションに移り、「ミャンマーでの事業展開の魅力と課題」をテーマにモデレータ ミャンマー経済・投資セン



講演するジェトロ 工藤年博氏



コーディネーター



パネリストの各氏

ター理事長米村紀幸氏とパネリスト、ジェトロ・工藤年博氏、(株)アライズ代表取締役小池正行氏、茨城大学工学部非常勤講師ティティ・レイ氏、三菱東京UFJ銀行国際業務部ミヤ

第三回ウーマノミクス推進委員会

平成二五年度均等両立推進企業表彰式並びにポジティブ・アクション推進セミナー開催

第三回ウーマノミクス推進委員会は、一〇月三日(水)一三時三〇分より、ソニックシティ市民ホールにおいて埼玉労働局との共催で開催され、



開会挨拶をする代田雅彦埼玉労働局長



表彰を受ける三州製菓(株)代表取締役 齊之平伸一氏

ンマーデスク金井宏樹氏の四氏によるディスカッションが行われ、また会場からも活発な質問が出され、ミャンマーへの関心の高さがうかがわれた。

九四名の方々が参加した。

委員会は、まず代田雅彦埼玉労働局長の開会挨拶に始まり、続いて平成二五年度「均等・両立推進企業表彰」表彰授与式に移り、「均等推進企業部門埼玉労働局長優良賞」を三州製菓(株)、(株)武蔵野銀行、(株)ベルーナの三社が、「ファミリー・フレンドリー企業部門埼玉労働局長奨励賞」を津田工業(株)が受賞した。

その後、「なぜ女性管理職が増えないのか? 均等と両立の取り組みを」をテーマに東京大学大学院情報



表彰を受ける(株)武蔵野銀行常務取締役 中村元信氏

学環教授佐藤博樹氏より講演が行われた。

休憩をはさんだ後に、「ポジティブ・アクションの必要性とその効果」をテーマに、コーディネーター佐藤博樹氏、三州製菓(株)総務部マネージャー板垣千恵子氏、(株)武蔵野銀行人事部企画グループ部長高倉啓氏、(株)ベルーナ人事部課長羽田純也氏の三氏をパネリストとしてパネルディスカッションが行われ、活発な議論が行われた。



表彰を受ける(株)ベルーナ取締役経営企画室長 島野武夫氏



講演する佐藤博樹氏



パネリストの各氏

埼玉大学との合同特別公開講座 平成二五年度第一講開催

「企業の社会的責任を考えると東日本大震災と鉄道の復旧との関連で」と題して 経済学部・安藤陽教授が講演

平成二五年九月十八日(金)一四時からソニックシティ市民ホールにおいて、埼玉大学と本会との合同特別公

開講座平成二五年度第一講が開催され、埼玉大学経済学部・安藤陽教授より、「企業の社会的責任を考えると

「東日本大震災と鉄道の復旧との関連で」と題して講演が行われ、三〇名の方々が参加した。

箕輪氏からは、「株式会社における所有・支配構造」「企業支配論から企業統治（コーポレートガバナンス）論への展開」「東日本大震災における鉄道の復旧と企業の社会的責任」「企業の社会的責任を考える」等の視点から語っていただきました。



講演する安藤陽氏



講演風景

第二回働く女性応援講座

『自身のキャリアビジョンを描く』をテーマに開催

本会ウーマノミクス推進委員会と埼玉県女性キャリアセンターの共催で、「第二回働く女性応援講座『自身のキャリアビジョンを描く』」が九月一日（水）埼玉県女性キャリアセンターで一〇時から開催され、四〇名が参加した。

本講座は終日のプログラムで行われ、まずキャリアアカウンタラー染谷



グループディスカッション

埼玉県労働セミナー

「職場のパワーハラスメント対策」をテーマに事業者向け第四回セミナーを開催

埼玉県、本会、連合埼玉が協働して、複雑多様化する労働問題に関する知識の普及を図ることに、健

全な労使関係の確立に寄与するとともに、職場における問題を自主的に解決できる人材を育成することを目



参加者が自分のキャリアビジョンをもとにコラージュを作成

的とする「埼玉県労働セミナー」・事業者・人事労務担当者向け第四回セミナーが九月六日（金）、午後、ソニックシティビル四階の市民ホールで開催され、本会会員と県のホールページなどから応募した方も含め五八名が参加した。

厚生労働省が発表した平成二四年度の個別労働紛争の相談状況では、パワーハラスメントにあたる「いじめ・嫌がらせ」に関する相談が初めて最多となった。パワーハラスメントが発生すると、社員の心の健康を害し、職場全体の士気の低下など、生産性の悪影響が及ぶだけでなく、休職や退職に至れば大きな損失となる。

また、企業が適切に対処しなければ使用者として法的責任を問われることもあり、企業のイメージダウンにもつながりかねない。

こうした状況を踏まえ、今回は、弁護士は今井靖博氏を講師に、企業のリスクマネジメントの観点から考える「職場のパワーハラスメント対策」と題して開催された。今井靖博弁護士は、第二東京弁護士会に所属し、山田・尾崎法律事務所勤務している。三三歳の若手だが、企業のリスクマネジメントやコンプライアンスに関する指導・助言など予防法務を中心に様々な事件を幅広く取り扱い、活躍している。

主な講義内容は以下の通り、①パワーハラスメント問題の現状、②パワーハラスメントとは？、③パワーハラスメントはなぜ起こるのか、④企業のリスク（法的責任・マイナスイメージ）、⑤事例・判例に見るパワー

ハラスメント、⑥効果的な予防対策と適切な対処法、⑦演習でパワーハラスメントに対する認識を深める。

今井弁護士からはパワーハラスメントを経営上の重大な課題として認識することの重要性、効果的な予防対策、発生後の適切な対処法などについて事例や判例を踏まえ詳細な解説が行われた。

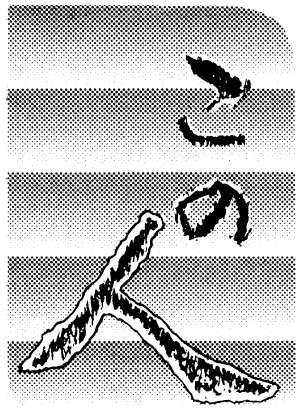
なお、平成二五年度の「埼玉県労働セミナー」は、事業者向け講座を六回、勤労者向け講座は四一回、そして、十二月に予定している事業者・勤労者共通課題講座を含め、全四八講座の実施を予定している。



講師の今井靖博弁護士



会場の様子



小原齒車工業(株) 代表取締役社長 小原敏治氏

となり、現在でも社内軟式野球部では内野手として活躍中、ゴルフ(ゴルフ歴二十年、念願のシングルプレーヤーとなる。心技体を鍛えるための独自の実践トレーニングをメルマガで発信中)。そして動植物。自宅でうさぎを飼育しているほか、カブトムシやクワガタを養殖。毎年、知人や友人の子ども達にプレゼントしている。オオクワガタの飼育歴も二十年だという。

さらに、自宅の庭で本格的な家庭菜園とミカンなどの果物づくりにも精を出している。趣味も多趣味で、何でも興味を抱き受け入れるという姿勢と活力を感じた。

この人は川口生まれの川口育ち。だからこそ、鋳物の街川口に対する思いも強い。

小原齒車工業の創業者・小原富蔵氏の孫として生まれ、初孫に喜んだ祖父富蔵氏は毎日のように幼い孫を工場に連れて行き、遊び相手にもなってくれた。ものごころ付く前から川口の工場が遊び場だった。幼な心に工場のおいも音も含めての空気が居心地良く、「大きくなっても自分はこの工場で何かをしたい」と漠然と考えていたという。祖父のDNAを継承する現職への道は子供の頃にはすでに確立されていた。

中学、高校を経てものづくりの後継者への思いは益々強くなり、日本大学生産工学部卒業の時点で覚悟ができた。二代目社長の父からは、「これからの世の中、英語くらいわからないと経営者として通用しない」と言われ、大学卒業後、イギリスに一年間語学留学、ホームステイしながら、イギリス流の考え方も学んだ。

帰国後、小原齒車工業に入社、入社後一年間は米国の得意先で武者修行をさせてもらった。その一年間で、米国人社長と日本人社長との差を体感し、「両方の良

さを兼ね備えた経営者になりたい」と強く感じた。具体的には、合理的で大らか、ON・OFFの切り替えがはっきりしている米国型と、きめ細やかで真面目かつ勤勉、義理人情に厚い日本型である。

米国での武者修行から帰国後、大阪営業所に配属され、ここでは大阪商人の気質「商い」を学び、川口独特の職人氣質との差も痛感し、川口気質の良悪両面を真剣に分析した。

その後、製造部、取締役営業部長、常務取締役を経て、二〇〇一年八月、三代目社長の叔父を後継し、三九歳の若さで四代目社長に就任した。

社長に就任した平成十三年は、それまで順調だった事業がITバブル崩壊の影響を受け売り上げが極端に落ち込み、赤字すれすれの状態だった。そのような状況の中で新社長が強力に推進したのが川口工場の再生である。それは、「生まれ育った川口に生産拠点を残したい」という社長の強い思いでもあった。野田工場に生産統合という意見もあったが、「野田に移転すれば、通勤の関係からも優れた技術を持った社員たちも辞めてしまう。自分が幼い頃に可愛がってくれた社員を辞めさせたくない」という思いもあったという。

川口工場は従来の操業を続けながら、大規模な設備更新を行い、約二年の月日をかけて大改修が終了した。野田工場で製造した標準歯車を川口工場で追加加工するという大胆な発想で、それまでお客様が加工業者に依頼していたものを小原齒車が一貫して受注するシステム「歯車工房」を川口工場に導入した。そ

の後もお客様のニーズに応えるための新型加工機械などを次々と装備し、少量・多品種・短納期に対応する未来型工場へと進化した。工事完了後は、受注がそれまでより五〇%近くアップし、生産性も向上したこと、社長の英断が大成の結果を生んだ。

小原社長の経営方針は「信頼と満足」の提供。つまり、コンプライアンス経営&CS(顧客満足)・ES(従業員満足)・SS(社会満足)の実践である。「企業は社会貢献する義務があり、かつ、私的なものではなく、公的なもの」。「近年、企業の不祥事が続いているが、利益だけを追い求め、『社会貢献』を忘れている結果」と、強く叱責する。

その社会貢献の実践の一つが、年間五〇組、五〇〇名以上の工場見学を受け入れているところ。小学生、中学生、高校生、そして、得意先や関係団体など、要望があれば拒まず、川口の未来型工場を見てもらっている。「良い工場だなあ、という印象が子ども達の職業観を養い、将来の夢や就職へと繋がりが、得意先や関係団体に対しては『工場営業』という考え方にも繋がっている」と胸を張った。

歯車業界の将来展望については、「人間が豊かさを求める限り機械はその豊かさをサポートするものとしてニーズは継続する。世界にはまだまだ機械化が必要な地域が存在し、今後は海外展開の拡大も視野に入れ、より良い商品を提供していきたい。歯車は機械部品の中では、古典芸能」だが、その伝統を守りつつ進化させていきたい」と目を輝かせた。趣味は、野球(掛布選手に憧れ阪神ファン

〔略歴〕
一九六二年(昭和三十七年)七月二六日生まれ
埼玉県川口市出身
一九八五年 日本大学生産工学部機械工学科卒業
卒業後、イギリスに一年間語学留学
一九八六年 小原齒車工業株式会社入社、米国の得意先にて一年間研修
一九八七年 大阪営業所勤務
製造部生産管理課、営業部取締役営業部長を経て
一九九八年 常務取締役就任
二〇〇一年 代表取締役社長に就任、同年、(株)KHK野田の代表取締役社長に就任
二〇〇七年 KHK(株)の代表取締役社長に就任

〔主な公職〕
・(社)日本歯車工業会 副会長
・彩の国工場振興協議会 幹事
・川口市商工資金審査会 副会長
・(公財)川口産業振興公社 理事
・川口商工会議所 常議員
・川口機械工業組合 理事
・(財)川口中小企業共済協会 理事
・日刊工業新聞社 産業人クラブ
副会長、同埼玉ビジネス研究会 会長

小原齒車工業(株)
小原敏治代表取締役社長

「全ての方々に信頼と満足を提供する企業活動を行います」

小原歯車工業(株)

設備投資を行い、法規制を守り、お客本位、かつ、社員が働きやすい職場を目指して、2004年に新社屋が完成し、オーダー歯車の製造、標準歯車の在庫管理、標準歯車の追加加工を行っております。

当社は、昭和10年(1935年)、

鑄物の街・川口で創業いたしました。創業当時から歯車製造一筋の会社です。創業して間もない頃、英式旋盤用替え歯車の製造・販売を開始し、1955年には自社で設計開発した「KHK標準歯車」の製造・販売を開始しました。規格された歯車を見込みで生産し、在庫して、即納体制を整える、今もこの標準歯車ビジネスモデルを

引き継いでおります。

その後、KHK標準歯車は時代とともに進化し、モジュール化(インチサイズからミリサイズに変更)が図られ、新素材の採用(MCナイロンなど)を採用し、その種類を増やして参りました。現在では150品目9700種の歯車をライアップしており、4500種の歯車が即納品です。また、標準歯車へのオプション加工付きのJシリーズが5000種あり、受注後3日間で出荷できる生産システムを構築しております。

製造拠点は、埼玉県川口市の本社工場、グループ会社であり標準歯車専門工場である(株)KHK野田(千葉県野田市)、営業拠点は本社営業部(関東以北)、大阪(大阪以西)と名古屋に営業所があります。その他、貿易商社KHK(株)があり、KHKグループ3社となっております。

KHKグループ3社全ての部門

でISO9000(品質マネジメントシステム)、ISO14000(環境マネジメントシステム)を認証取得しており、CS(顧客満足)・ES(従業員満足)・SS(社会満足)とコンプライアンス経営の実現のため、経営方針「信頼と満足の提供」に基づいた企業活動を行っております。

お客様の技術的なサポートツールとして、全製品の仕様や技術データをまとめた「KHK総合カタログ」を発行しており、カタログとして、または、設計技術本や歯車図鑑として幅広くご利用いただき、年間2万部以上を無料配布しております。ホームページ上で公開する「ウェブカタログ」では、標準歯車の検索の他、強度計算、図面作製、CADデータ出力などの機能も利用できます。

2002年、創業の地である川口市でもモノづくりのこだわり、「川口工場全面改修計画(プロジェクトK)」を始動し、積極的な

お客様のご要望へ柔軟に対応するため、改修工事中に得たノウハウを活かし、工場内レイアウトを直ぐに変更できるようにしました。その変幻自在な工場は、マスコミから「カメレオン工場」と呼ばれ、数多くのメディアで紹介されております。また、若手技術者育成の場として、社内でロボット格闘技戦を開催するなど、ものづくりを通じて、様々な分野をサポートしております。

KHKは今後とも製品と共に「信頼と満足」をお届け申し上げます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



製造歯車の集合写真

本社・川口工場



More For You
もっと、街・暮らし・笑顔のために



武蔵野銀行



埼玉県のマスコット「コバトン」

新しいクオリティへ、新しいスピードで。



埼玉りそな銀行

RESONA

<http://www.resona-gr.co.jp/saitamaresona/>

小笠原きづき・ふりかえり洋上研修

世界自然遺産・小笠原で 三四回目の洋上・島内研修



第34次小笠原洋上研修団

今年で三四回目を迎えた「小笠原きづき・ふりかえり洋上研修」は、七月、八月、九月の事前集合研修および通信教育受講を終え、十月三日～八日の六日間、小笠原洋上・島内研修を実施した。

今回の研修団は研修生が昨年より九名増え四六名、スタッフを含め総勢五六名で編成され、小笠原往復の船内研修と小笠原村・父島での島内研修などのプログラムを終了した。

今回の研修は、立て続けに発生した台風二三号、二四号の影響が懸念されたが、幸いにも影響は少なく往復とも予定通りの航海となった。

出航日の十月三日当日は、台風一過ということもあり、陽射しにも恵まれた。今年も竹芝桟橋からの出航の前に小笠原定期船「おがさわら丸」（六七〇〇トン）を眼の前に臨む埠頭公園で結団式が行われた。まず、今次団長をお願いした朝川哲一講師（組織文化工学研究所代表）のあいさつに続き、柴田隆至小笠原海運（株）常務取締役から激励のあいさつを頂戴し、さらに、お見送りの方を代表して、アイル・コーポレーション（株）の佐宗紀子指定管理部課長代理からお言葉をいただいた。

小笠原へ向かう海上の波高は二m程度で、予想より穏やかな海上状態となり、

往路の予定された洋上研修はほぼ計画通り進めることができた。船は二五時間半の航海を経て、十月四日、定刻の一時三〇分に小笠原・父島に到着した。今年是小笠原諸島日本復帰四五周年の返還記念行事と重なり、我々研修団の訪問と同じ日程で記念式典が行われ、太田昭宏国土交通大臣や二〇二〇年東京オリンピック誘致を成功させたばかりの猪瀬直樹東京都知事ら、多くの来賓が訪島した。十月五日の記念式典前には記念パレードが行われ、総勢四七〇名を超える参加者が返還を祝っていた。ちなみに、父島の総人口は約二〇〇〇名である。

今次洋上研修は、往復の海上も良好で、父島の島内研修では時折スコールに見舞われたものの、屋外研修も含め、ほぼ予定通りプログラムが実施できた。この研修は、六・七名でチーム編成、船内で六日間寝食を共にする。そして、グループワーク中心のプログラムを体験することにより、目標設定と達成度、リーダーシップ、チームワーク、コミュニケーション、問題解決などを船内洋上研修と島内体験学習により実践する。小笠原村父島での島内研修では、世界自然遺産となった小笠原諸島で原始の姿を残すその特異な自然環境と貴重な

往路船内研修の主なプログラム

- 十月三日（休）～四日（金）
- ①オリエンテーション、スタッフ紹介・メッセージ
 - ②チーム活動の目標設定
 - a. チーム運営目標、個人目標の確認とコミットメント（約束宣言）
 - b. チーム目標、個人目標の発表とふりかえり
 - ③アドバイスカードの作成・交換
 - ④目標設定の総括
 - ⑤役割担当者別ミーティング
 - ⑥コミュニケーション実習
 - ⑦チームワークコンテスト（南洋踊り）の練習

な動植物などを目の当たりにする。島内で行われるウォークラリーやチームワークコンテストを通してチームワークの大切さや役割分担の重要性、主体的で積極的な行動の必要性などを学ぶ。また、毎年温かく歓迎していただく小笠原村の村民の方とふれ合い、伝統芸能の披露や地元の特産品などを紹介していただく。

十月五日に行われた現地の方との交流会では、森下一男小笠原村長、安藤光一小笠原村商工会長、金子隆小笠原村観光協会会長をはじめ、多くの方にご参加をいただいた。また、研修生が洋上で練習した郷土芸能の南洋踊りを披露し、その成果をチームワークコンテストとして、村の方に評価していただいた。村からは、本格的なフラダンスや迫力ある小笠原太鼓なども披露していただいた。

これら、洋上での船内研修や小笠原の大自然という非日常空間で自らのきづき・ふりかえりを行い、自己革新を始動するきっかけをつかむ。また、十一月まで実施される五か月間におよぶ研修を通して、次代を担うリーダーとしての心構えを学び、自社での実践に活かしさらに異業種のメンバーとのネットワークを築く。

小笠原・父島島内での主なプログラム

十月四日(金)～七日(月)

- ① 島内見学
- ② スターライトヒールリング(星空見学会)
- ③ ウォークラリー(チーム対抗野外体験学習)
- ④ ラリー表彰式
- ⑤ 課外活動
- ⑥ 現地交歓会・チームワークコンテスト
- ⑦ 「たこの葉」細工体験
- ⑧ 研修団記念撮影 など

復路船内研修の主なプログラム

十月七日(月)～九日(火)

- ① おがさわら丸 船内見学
- ② ウォークラリーふりかえり
- ③ ウォークラリーでのチームワーク評価
- ④ 島内研修のふりかえり
- ⑤ アドバイスカードの作成・交換(自己理解、他者理解、相互理解)
- ⑥ 行動開発計画表の解説と能力要件の
- ⑦ 研修での成果と反省
 - a. チーム目標、個人目標のふりかえり
 - b. 達成度と課題の発表
- ⑧ 研修の総括・まとめ など



竹芝での結団式

ふりかえり

- ⑦ 研修での成果と反省
 - a. チーム目標、個人目標のふりかえり
 - b. 達成度と課題の発表
- ⑧ 研修の総括・まとめ など

復路の洋上は、南海上に発生した温帯低気圧の影響もあり、多少のうねりが発生したが、八丈島を越えた付近からは穏やかとなり、復路研修も計画通り進められ、予定したプログラムは全て終了することができた。船はほぼ定刻の十月八日、午後十五時三〇分に竹芝橋橋に到着し、下船時には研修生とスタッフが固い握手をかわし、第三四次小笠原洋上研修団は解散した。

小笠原往復六日間という非日常空間で寝食を共にした研修生は、期間中体験した様々な研修や課題をやり切ったという達成感からか、事前研修や往きの船での態度・姿勢・表情などがあきらかに変わり、同じチーム内、そして、スタッフを含めた研修団全体でも一体感が生まれた。

なお、十一月六日には、この研修の最後となるフォロアアップ研修(第四回集合研修)が行われ、ここには、派遣企業の総務人事担当者の方や、メン

バーの直属上司の方にも聴講していただき、自分の強み、弱み、職場で実践すべきこれからの行動目標などをまとめた「行動開発計画表」の個人発表が行なわれた。また、ふりかえりの研修や、研修全体の総括、修了式なども行われた。

リーダーおよびリーダー養成研修とともに、異業種交流という意味合いももつこの小笠原洋上研修を他企業との新たなネットワークづくりや人脈の構築にもぜひ活用していただきたい。

小笠原洋上研修概要

この研修は、本会が「次代を担う人材育成プログラム」として職場リーダーやリーダー候補を対象に開催しているもので、グループワーク中心の体験・自己参画型研修として定着しており、今年で三十四年目を迎えた。

マネジメントやリーダーシップの基本を事前研修や通信教育で学び、さらに真のリーダーシップやコミュニケーションスキルなどを世界自然遺産となった「小笠原」という非日常空間で体験的に学習する。参加者は今度も含めて過去二、一八六名の実績がある。

第三十四次研修日程・プログラム概要

六月～ 通信教育受講・提出
テキスト「マネジメントの基本知識Ⅰ・Ⅱ」

◇第一回集合研修・七月三一日

- * 開講式
- * オリエンテーション
- 研修のねらいと目標
- 研修概要の説明
- 基本コンセプトの確認
- * 個人プロフィール発表
- * リーダーシップ講義
- ① 「リーダーシップとは」
- 演習とまとめ
- ② 「リーダーシップの定義」
- 目標設定、演習とまとめ

◇第二回集合研修・八月二日

- * チームづくり
- * マネジメント講義と演習
- 「管理監督者の基本的役割」
- 「職場活性化診断」(演習)
- 「管理監督行動の再確認①」
- 「管理監督行動の再確認②」
- 「組織と管理に関する考え方の変遷」
- 「管理プロセスの実践」
- 「部下指導」
- 「問題解決」

◇第三回集合研修・九月一九日

- * 洋上・島内ガイダンス②
- * 講義
- 「個人目標・チーム目標の考え方」
- 「個人目標・チーム目標の設定」
- * 「ストレスマネジメント①」リラクゼーション体験
- * ウォークラリー解説①
- 基本ルールと注意事項など

- * 洋上・島内ガイダンス③
- * 通信教育進捗状況説明
- ◇小笠原洋上・島内研修
- 十月三日～八日(六日間)
- (概要は前述)

◇第四回集合研修・十一月六日
フォロアアップ研修(職場実践へのキックオフ)

- * ワークショップ
- 「ふりかえり研修」
- * 講義
- 「ストレスマネジメント②」
- * 講義・発表
- 「行動開発計画表の発表」とまとめ
- 「これからのリーダー像」
- * 「まとめ・総括」
- * 通信教育修了式
- * 洋上研修修了式
- * 第三四次修了パーティ



第34次スタッフ

第34次 小笠原洋上研修 参加者およびスタッフ名簿

〔参加者〕 企業名50音順

〔スタッフ(洋上・島内研修スタッフ)〕

企 業 名	参加者	企 業 名	参加者	役 割	氏 名	所属・役職		
アイル・コーポレーション(株)	西 康博	(株)日本キャンパック	鷲島 俊明	団長・講師	朝川 哲一	組織文化工学 研究所 代表		
	新井 典嗣		野中 鎮					
牛山電工(株)	松本 浩幸		阿佐見武彦	講 師	中川 健二	組織文化工学 研究所 チーフコンサル タント		
AGS(株)	木村 宗興		五月女周作					
NTT スポーツコミュニティ(株)(大宮アルディージャ)	早野 友行		遠藤 大介				ウエルネス コーディネー ター	
	池田 正人		中川 勝行					
クリーンシステム(株)	豊泉 弘行	日本信号(株)久喜事業所	森 健志	研 修・運 営	本橋 隆行	社会福祉法人 隼人会まきば 園		
	岩下 誠	中村 和弘						
(株)コーセー 狭山事業所	三橋 卓弘	日本畜産興業(株)	森本 恭二				阿部 雅一	日通旅行(株)
	下酒井亮一	日本ピストンリング(株)	新井 良美				富永 良子	日通旅行(株)
	岡澤 晃	初雁興業(株)	岡部 慎也	高岩 賢一	小笠原海運(株)			
サイデン化学(株)	野沢 純一	(株)ハーバス	岡島 順一	事 務 局	宮田 信久	(一社)埼玉県 経営者協会		
	高柳 剛	(株)ビージーエンジニアリング	石川 孝臣					
	西澤 武史	(株)ピククルスコーポレーション	関谷 広希					
坂戸ガス(株)	富岡 久志	武州ガス(株)	岡村 仁				新井 秀明	(一社)埼玉県 経営者協会
	大澤 秀治		飯塚 薫					
幸手都市ガス(株)	川合 健太	武州産業(株)	斉藤 真一	町田 恭子	(一社)埼玉県 経営者協会			
(株)トッパンエレクトロニクスプ ロダクツ	船木 悟		三ツ木政彦					
	(株)トッパンコミュニケーション プロダクツ	真々田和弘	社会福祉法人隼人会 まきば園			古藤 祥彦		
(株)トッパン・テクニカル・デザインセンター		佐藤 寛臣	社会福祉法人隼人会 岩槻まき ば園	大坂 穂典				
	日信ソフトエンジニアリング(株)	小原 慧	社会福祉法人隼人会 鴻巣まきば園	遠藤千香子				
牧野 真大		社会福祉法人隼人会 鴻巣まきば園	根岸 陵					
島崎 泰	三国アセプティック(株)	板橋 真						



ウォークラリー
(スタート前選手宣誓)



往路洋上研修
(チーム目標・個人目標
の発表)



7/31第1回集合研修
(リーダーシップ講議)



ウォークラリー
(ゴールシーン)



往路洋上研修
(チーム目標の設定)



8/22第2回集合研修
(マネジメント講議)



現地交歓会
(小笠原村の皆さんと)



復路洋上研修
(チーム目標・個人目標
のふりかえり)



9/19第3回集合研修
(ストレスマネジメント)



埼玉県最低賃金の最

(平成25年度)

埼玉県最低賃金	時間額 (円)	発効日
	785	25.10.20

埼玉県内で働く全ての労働者（下記の「産業別最低賃金」が適用される人を除く。）に適用されます。

特定（産業別）最低賃金	時間額 (円)	発効日
非鉄金属製造業 <small>(非鉄金属第1次製錬・精製業、非鉄金属素材製造業及びその他の非鉄金属製造業を除く。)</small>	842	次の人達には、上記の「埼玉県最低賃金」が適用されず。 1. 18歳未満又は65歳以上の者 2. 雇入れ後3月未満のものであって、技能習得中のもの 3. 清掃又は片付けの業務や手作業に主として従事する者 4. 製造業については、手作業による包装、袋詰め、箱詰め又は運搬の作業に主として従事する者
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業 <small>(医療用計測器製造業（心電計製造業を除く）を除く。)</small>	846	
輸送用機械器具製造業 <small>(産業用運搬車両・同部分品・付属品製造業及びその他の輸送用機械器具製造業（自転車・同部分品製造業を除く）を除く。)</small>	857	
光学機械器具・レンズ、時計・同部分品製造業	857	
各種商品小売業 <small>(衣・食・住にわたる各種の商品を小売する事業が該当する。)</small>	810	25.12.15
自動車小売業 <small>(二輪自動車小売業（原動機付自転車を含む）を除く。)</small>	857	

(注1) 最低賃金の対象となる賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、時間外・深夜・休日手当、臨時又は1月を超える期間ごとに支払われる賃金は算入されません。

(注2) 著しく労働能力が低い人などについて、埼玉労働局長の許可を受けた場合には、最低賃金の特例許可金額が適用されます。

青年経営者部会・九月例会

「日本の文化と芸術に親しむ、 神田あおい氏の体験講談と懇親 会」開催

青年経営者部会の九月例会が九月五日(休)午後バレスホテル大宮において二十名が参加し、日本の文化と芸術に親しむ講談師神田あおい氏の体験講談と懇親会の二部構成により開催された。

第一部は藤池一誠副部長(デサン・社長)の司会・進行で執り行われた。今回の企画は、日頃ブレゼン、会議等々で、腹の底から声が出せるというのも、経営者の

重要な資質の一つであり、講談の体験を通じて、その資質を高めようという藤池副部長の発案により行われた。

開会で川本武彦副部長(サイサン・社長)は、日頃の激務で体にも、心にも、ストレスが溜まっているものと思われるので、本日の講談で、ストレスを発散し、元気を取り戻してほしいと挨拶された。講師の神田あおい氏は、埼玉原

岩槻市(現さいたま市)の出身で、若手女子講談師のユニット「講談女伊達」のメンバーとしても参加現在は岩槻人形大使、岩槻ねぎ親善大使としても活躍中です。古典だけでなく、新作講談にも意欲的に取り組んでいる新進気鋭の女子講談師です。

当日は、講談を聴くだけでなく、実際に講談を参加者に体験していただき、肉体的にも、精神的にも、大いにリフレッシュ、ストレスの解消ができたと思います。

その後、声をだして、講談を体験した水村真太郎会計監事(かにや・専務)より謝辞が行われ、第一部は終了した。

第二部の懇親会は、三原宏治幹事(日本自動車管理・社長)の司会・進行で執り行われ、栗原志功会計監事(もしもん・社長)により、乾杯と挨拶が行われた。

懇談では、部会員はもとより、神田あおい氏を囲んで、和気藹々の懇親会が続いた。

なお、本例会に先だつて行われた役員会議により、十月に開催される神戸全国大会での埼玉開催PR方法・企画を、懇親会で案に基づき、全員で練習を行った。

最後に、矢部利人(丸和工業・社長)による挨拶・中締めが行われ、九月例会は盛会裏のうちに閉きとなった。

青年経営者部会 全国大会(兵庫)開催

来年は埼玉で開催

第三十八回経営者協会青年部会全国大会が、十月十八日(金)・十九日(土)の両日、兵庫県経営者協会青年部会が主管となり、ANAクラウンプラザホテル神戸で開催された。同大会には、全国から若手経営者を中心に二百十四名が参加した。

当埼玉からは、川本武彦副部長(サイサン・社長)をはじめ、矢部利人(丸和工業・社長)、藤池一誠(デサン・社長)、眞子岳志(眞工社・社長)、内藤 岳(内藤環境管理・常務)、各副部長、坂本哲郎幹事(カツミテクノ・専務)、栗

原志功会計監事(もしもん・社長)、三友哲哉部会員(八千代紡織・営業部長)、庄司祐子(ポジティブスターヨガ・社長)、山崎まこと(ポジティブスターヨガ・インストラクター)と親会事務局の宮田、事務局鈴木、計十二名が参加した。

第一日は午後一時三十分から正副部長会議が開催され、兵庫県青年部会の井浪謙祐副部長(神戸共同印刷・社長)が開会の挨拶を行った。続いて、全国十一(愛知・茨城・岐阜・京都・高知・埼玉・堺・千葉・奈良・兵庫・石川)の青年部会長から各地の活動状況

開会挨拶する川本副部長



講談する神田あおい氏



講談を体験する水村会計監事



講談を体験する栗原会計監事



記念講演の青山繁晴氏



懇親会の様子



来年度の埼玉大会をPRする参加者一同



の報告が行われた。

午後二時三十分から全国大会の式典が始まり、主催者挨拶を井浪謙祐部会長が行い、続いて、兵庫県経営者協会寺崎正俊会長が歓迎の挨拶を述べ、井戸敏三兵庫県知事と矢田立郎神戸市長が来賓の挨拶を行った。その後、参加青年部会紹介があり、正副部会長会議の報告がなされた。

続いて、(株)独立総合研究所 代表取締役社長兼首席研究員 青山繁晴氏が「日本の出番、祖国は魅する」と題し記念講演を行った。

氏の講演は、推測や憶測ではなく、自身が直接、当事者と合って得た第一情報、あるいは現場を回って得た情報をもとに分析と予測をし、行っていると話された。

懇親会は「KOBELIG 2013」の横断幕の下、大学のチャイロダーチームにより始まり、会場中央にセットされたリング上で、地元プロレスラーによる格闘が行われた。

その後、来年の平成二十六年十

一月十三日(木)・十四日(金)に埼玉で開催される第三十九回全国大会のPRを埼玉の参加者全員で行った。

メインテーマ「じつは、すごいぞ！埼玉」の横断幕と、のぼり、そして、おそろいのオレンジ色のジャンパーで統一し、川本部会長の指揮のもと、藤池副部会長と栗原会計監事の情熱的なアクションと、参加者全員で、すごい埼玉を宣伝し、来年の埼玉への参加をPRした。

最後に、サンバチームと共に各地の部会長が舞台上に上り、熱いサンバダンスを踊り、参加者全員でジェット風船を飛ばし、熱気と興奮の中、会はお開きとなった。

翌日のエクスカッションは、日本最古のゴルフ場「神戸ゴルフ倶楽部」での記念ゴルフと、甲子園球場スタジアムツアー、灘の酒造を巡り、「粕汁鍋」の昼食を堪能し、相互の親睦と交流を深めて、兵庫県・神戸での全国大会は幕を閉じた。

や不安を抱くようになるこの時期に「入社後の仕事を振り返り、より良い仕事を遂行するための考え方やスキルを学び、今まで以上に積極的に仕事に取り組めるよう意欲の向上を図る」ことを目的に開催、参加した三六名が様々な課題に取り組んだ。

プログラムは、従来の内容に新たなテーマとして「効率的な仕事をするために」を取り入れ、その他、以下の内容に取り組んだ。「入社後の職場生活を振り返り、見直しを図る」「職場で期待される心構えと役割の再確認」「仕事を円滑にするためのコミュニケーションとチームワークの重要性を理解する」「正しいビジネススマナーの知識とビジネススキルを再確認する」。

りそな総合研究所(株)パートナー講師・古澤美奈子人材教育研究所

代表古澤美奈子氏による講義は、グループワーク、グループ討議を通して体験的に理解頂く参加者主役型で進められ、「体験と振り返り」を重ねることで気づいたことを職場での具体的な実践に繋げるという内容で、プログラム中では「あなたに期待される役割」として、

1. 積極的な取組み姿勢

2. 仕事の実践者

3. 職場のコミュニケーションの実践者

4. 先輩の補佐役

5. 明るい職場づくりの一員

6. 自己啓発

について具体的講義が行われた。参加者からは「今の自分の改善点に気づけたことが大きな収穫になった」「社内でも『効率を上げるように』と指摘されていたので、効率に関するプログラムがとても

参考になった。自分の仕事をもう一度見直したい」「自分ができることを考えて行動に移していること、と思った」「仕事で失敗したこと、苦労したこと、工夫していることに関してグループで共有できたことが励みになった」といった感想が出されるなど、貴重な「振り返り」と気づきの場となったようだ。

〔参加会社・組織〕

(株)アズ企画設計①、牛山電工(株)⑤、エヌ・ティ・ティ・スポーツコミュニケーション(株)①、(株)大泉工場①、一般財団法人さいたま住宅検査センター③、(株)高脇基礎工事②、東京インキ(株)⑥、(株)ニチアココミュニケーション①、中原建設(株)②、(株)フォレスト①、(株)プラコー②、もしもん(株)⑩、ものつくり大学①
○内は、参加者数。合計三六名。

新入社員

フォローアップ研修を開催

新入社員フォローアップ研修を
一〇月二八日、大宮ソニックシティ
で開催した。

入社後半年が経ち、職場や仕事
にも少しずつ慣れ、戦力として大
きく期待される半面、色々な疑問



積極的な取組み姿勢の重要性を再確認するための教育ゲーム



効率的な仕事をするために仕事の優先順位を考える



グループワークを通して気づいたことを話し合い発表



名刺交換等、ビジネススキルを再確認する

埼玉大学研究者との出会いの広場

シリーズ
第79回

今回の内容について、ご関心・興味をお持ちの方は、下記にご連絡下さい。
 埼経協 専務理事 根岸 茂文、事務局次長 宮田 信久 ☎048-647-4100
 FAX 048-641-0924

研究の内容

産業への展開



半導体製造装置産業と 工作機械産業の国内外事業展開に関する研究

埼玉大学経済学部経営学科 加藤 秀雄 教授

私の研究スタイルは、フィールドワークによる企業調査を通じて、日本産業と中小企業の発展の行方を探るというものです。その時々テーマに対応した企業の方々と数多く交流を重ねていくことが日々の研究といっても過言ではありません。

2011年夏には、自動車、電機に代表される機械産業の量産領域を強く意識し、量産領域の日本産業と中小企業の国内外事業展開の行方をまとめましたが、暫くしますと非量産領域の今後をどのように研究していくかが頭の大半を占めていくこととなります。とはいえ、すぐにテーマに即した産業分野を選び出すことができず、相変わらず中小企業の方々と交流を重ねていました。

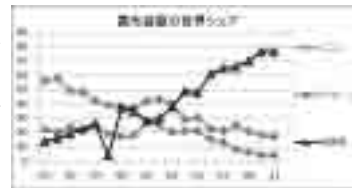
2012年初夏、偶然にも工作機械産業と半導体製造装置産業を訪問する機会が得られ、この両産業を比較することで非量産領域の日本産業と中小企業の国内外事業展開の行方を追うという新たなテーマによる研究がスタートすることになりました。

90年代のはじめ、工作機械産業と半導体製造装置産業の内需依存は7割を超えていましたが、現在ではそれぞれ3割強、2割強というように大きく低下しています。90年代当時の工作機械産業の

外需の多くは、NC装置付き高級機、中級機の欧米輸出を基軸とするものでしたが、現在では海外生産を拡大している日系企業向け輸出、拡大を続けるアジア市場への輸出が加わるなど広がりをみせています。また、急角度で成長するアジア市場における低価格、高品質というボリュームゾーンでの市場獲得競争に踏み込むか否かの難しい局面に立っています。

他方、半導体製造産業については、日本半導体メーカーとの取引を基軸としていた時代から、海外有力半導体メーカーを基軸とした寡占化の進展と、各製造装置の寡占化という構図の中で、国内生産を維持し続けることができるかの岐路に立っています。

たとえ、過去の両産業を訪問してきた蓄積があるにしても、はたして2年ほどでなにかしらの成果が得られるかどうかは心許ない限りですが、今それが私の最大の関心事になっています。



日本産業と中小企業の研究は、企業の方々と交流の上に成り立つものであり、そこから新たな発展の道筋が生まれればと願っています。

学歴・略歴
加藤 秀雄

(かとう ひでお)
1974年法政大学工学部経営工学科卒業。1774年トーヨーサッシ株式会社社員、1977年東京都商工指導所職員、1998年九州国際大学経済学部教授、2001年福井県立大学経済学部教授、2007年大阪商業大学総合経営学部教授、2009年埼玉大学経済学部教授。専門分野：中小企業論



CSR と CSV (共通価値創造の戦略)

埼玉大学経済学部経営学科 水村 典弘 准教授

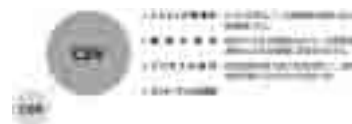
CSR という三文字略語は、もはや時代遅れなのかもしれません。なぜなら、CSR に取って代わる CSV (Creating Shared Value: 共通価値創造の戦略) のコンセプトがゆっくりと、しかし確実に企業人の間に浸透しているからです。

日本では、コンプライアンス(法令順守)も CSR に包括されます。FCPA (海外腐敗行為防止法) の動向やタックスヘイブン (租税回避地) の報道を注視していた方がいるかもしれません。また、食品表示制度や公正競争規約 (公競規) 施行規則等の内容確認に追われた方もいるでしょう。「社内ルールが現場で徹底されているのか」、「ルール自体が現場の実態に即しているのか」など、内部監査に奔走した方もいるかもしれません。

法に背けば、法に定めるペナルティーが科せられます。しかし、CSR 活動には、法に相当する規範がなく、罰則規定も設けられていません。本を正せば、CSR という英語は、企業の社会貢献・慈善活動を意味していました。したがって、冒頭の段落で使用した CSR の内容も社会貢献・慈善活動に限定されます。こうした文脈で、次のよう

な問いを投げ掛けてみたいと思います。「なぜ御社は CSR 活動に経営資源を投入しているのですか?」、「CSR 部門の社内での位置付けは?」、「CSR 活動の KPI (主要業績指標) は?」、「CSR 活動の費用対効果は?」……。

CSR に込める想いは会社の来歴や経営者によって異なります。また、CSR 活動の内容を指標化して算盤を弾く態度は好ましくありません。しかし、株主・投資家や取引先銀行等の立場に立てば、先に挙げた問いの第1が関心事かもしれません。冒頭に示した CSV のコンセプトは、「善行は己を益する」の視点で構想されています。CSV は、社会課題解決の延長線上に継続的な収益確保を見据えているので、事業戦略の新たなフレームワークと言い換えることもできます。統合報告の導入が本格化している今、「CSR 活動に経営資源を投入する意味」も問われているのかもしれません。



経営理念の組織展開、ステークホルダーに照準を合わせたコーポレート・コミュニケーション(PR・広報)の展開

学歴・略歴
水村 典弘

(みずむら のりひろ)
2003年 明治大学大学院商学研究科博士後期課程修了 博士(商学)
2004年 4月から現職

「ものづくり大学」へようこそ

連載
第60回

今回の内容について、ご関心・興味をお持ちの方は、下記にご連絡下さい。
埼経協 専務理事 根岸 茂文、事務局次長 宮田 信久 ☎048-647-4100
FAX 048-641-0924



バランスと全体最適

製造学科 佐久田 茂 教授

私事で恐縮ですが、筆者はこの3月まで民間企業の生産技術部門に26年間勤務していました。そこで常々感じていたことは、生産技術におけるバランスの重要性と全体最適の難しさです。

私は学生時代、野球（中高）、柔道（大学）のクラブで練習に明け暮れ、最近はいえジョギングを嗜んでいます。どのスポーツを取ってもバランスが大切です。例えば、体重を軽くすれば早く走れるだろうと減量するとスタミナ切れ、スタミナをつけようとするとうーオーバーウエイトで体が重く、無計画に練習量を増やすと怪我、…などです。また私の大好きな相撲には「心技体」という有名な言葉があります。バランスをとる妙があるからこそ、奥が深い、面白い、難しいとも言えるのでしょう。

スポーツにせよ、生産技術にせよ、バランスを全て完璧にすることは不可能です。そこで全体最適を念頭におきながら構成要素の優先順位をつけることになります。時間軸も鑑みなければなりませんから、短期と中長期での優先順位決めにならうかと思えます。バランスや優先順位を考えるとときには、できるだ

け客観的・定量的な判断が求められます。主観的判断では、いかようにも個人に都合の良いように話をもっていけるからです。企業では、定量化も睨んで統計解析が盛んに使われていました。

私の専門の一つの精密位置制御においても、要素技術にも関わらずコスト・開発時間はもちろんのこと、精度、速度、ストローク、外乱抑制性等とバランスが問われます。また精密機械システムでは、さらに全体最適が強く求められます。私自身、大学教員としても、産学・地域連携、教育、研究のバランス・全体最適を念頭に歩んでいきたいと思っています。



精密位置制御要素試験機

佐久田 茂（さくた しげる）教授・工学博士 東京大学工学部精密機械工学科卒業、同大学院精密機械工学専攻修士課程修了。株式会社東芝を経て、2013年4月よりものづくり大学教授。精密機械システムが専門。技術士（機械部門）。
（連絡先：048-564-3848/sakuta@iot.ac.jp）



地震災害に備える

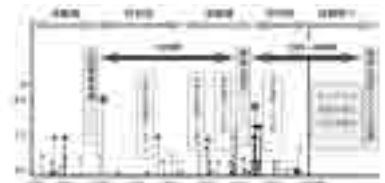
建設学科 長谷川 正 幸 教授

日本はすでに地震活動期に入ったといわれ、昨今では地震防災の重要性が叫ばれています。下図は、1600年以降に南関東で発生したマグニチュードM6以上の地震を時系列で並べたものです。これから分かるように、ほぼ100年間隔で活動期と静穏期を繰り返して、活動期に入ると、M6～M7クラスの内陸直下地震が立て続けに増え始めます。そして、関東地方に最も深刻な被害をもたらす、M8クラスの海溝型巨大地震の襲来によって、再び静穏期を迎えます。すなわち、1923年関東地震（関東大震災）の発生をもって、事実上、静穏期を迎えたことになります。

M8クラスの巨大地震は約200年間隔ですから、関東大震災の再来には、まだ100年ほど時間的余裕があります。しかしながら歴史の教えるところでは、それ以前にはM7クラスの直下地震が増えて災厄を与えます（1894年東京地震など）。県内では、埼玉県北部直下で発生した、1931年西埼玉地震（M6.9）がこれにあたります。この地震では、関東地方の広い範囲で震

度5を記録し、死者16名、全壊家屋76棟、笠原・深谷・鴻巣・吹上で被害が大きく、液状化現象も報告されています。

このように歴史を振り返ると、いま憂慮すべきは内陸直下地震となりますが、その被害の様相は地震規模だけでなく、地形や地盤、都市構造や建物、気象や発生時刻など、極めて多くの要因に左右されます。これらのうち、市民が対策すべきことは、建物の耐震化に努めることです。住居の建つ地域の液状化危険度を知り、建物の耐震性を確保し、室内では家具の転倒被害を防止する。このようなことが簡単にチェックできる、災害対策ツールの開発が急務であり、いま市民目線の技術開発が望まれています。



南関東で発生した被害地震（M6以上）
中央防災会議資料に加筆

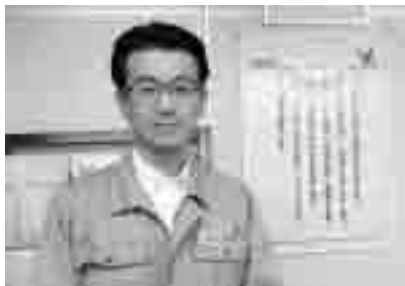
長谷川正幸（はせがわ まさゆき）教授・工学博士 日本大学理工学部建築学科卒業、同大学院理工学研究科修士課程修了。清水建設株式会社を経て、2013年4月よりものづくり大学教授。地震・耐震工学、とくに建物と地盤・基礎・杭の動的相互作用問題が専門。機構認定の防災士。

北部 株式会社オオツカハイテック

「ニーズに応える 一貫生産」

「加夢（カム）」これは、オオツカハイテックの創業者、現大塚則夫社長の祖父がつくった造語である。

回転運動を往復運動・揺動運動などに交換するメカニカルエレメント、それが「カム」の定義で、カムを見ればその国の工業水準がわかる、と言われるほど繊細かつ重要な部品である。創業者の熱い思いが「加夢（夢を加える）」という言葉に託されている。



大塚則夫代表取締役

三次元測定機など、最新鋭の加工機械・測定機械など約七〇台を装備している。客先が多様な要望に応えるための設備投資だという。

カムの専業メーカーとしてスタートした当社だが、高い精密度と耐久性への追及をしてきたノウハウと技術力を活かし、あらゆるニーズにも対応できる設備での一貫生産体制を軸に、現在では精度が要求される大型部品加工や各種ユニット製品、自動化・省力化機械などにも対応している。「日々進化し続ける機械と幅広いニーズへの対応は、新技術への挑戦とともに中小企業としての生き残りかけた戦略」と語るのは、平成二〇年に三八歳で社長に就任した大塚則夫社長。カム主体の製造ラインから、幅広い分野に



工場内の加工機械

DATA

会社名：株式会社オオツカハイテック
所在地：鴻巣市上会下626
所電：048-569-2711
FAX：048-569-2788
代表取締役：大塚則夫
設立：昭和34年9月
資本金：1,000万円
従業員数：116名
事業内容：各種カムのカットおよび研磨、汎用品・試作品の加工、カムの設計および計算処理、インデックスドライブ、ピックアンドプレイスユニット、工作機械用ATCユニット、各種カム式ユニットなど

本社・工場建屋



対応するラインへの転換を実行している。「国内での生き残りを図るためには、海外展開よりもさらに技術を磨き、ニーズを再発掘することが優先だと考えている。そのためにも一層の設備更新は必要。そして、従業員の資格取得奨励や講習会への参加促進など、全社的なレベルアップにより付加価値の高い製品を生み出していきたい」と目を輝かせた。また、「充実したオフから独創的なアイデアが生まれる」をコンセプトに、従業員が充実した時間が過ごせるよう、労働条件や労働環境、そして優れた福利厚生の実現を目指している。

中部 日本鑄鉄管株式会社

コストより「信頼」をコンセプトに一歩先を見つめる

久喜市の久喜葛蒲工業団地に所在する日本鑄鉄管株式会社は、昭和十二年創立、今年で創業七十六年の歴史を誇る。戦前は内燃機関用ピストンおよびピストンリングを製造、戦後、昭和二四年からガス・水道用鑄鉄管の製造を開始した。

水道、ガスの本管などライフラインの一翼を担う商品を生産している当社にとって、お客様からの「信頼」は生命線。環境配慮、技術開発、品質向上、企業責任などの全てを満たす事業運営は難しいが、「信頼」を維持・継続するため敢えてそれらを企業理念として掲げている。



清野邦夫取締役製造本部長

日本鑄鉄管は品質や信頼性向上への手段として、製造履歴や納入履歴を管理する「トレーサビリティ」の改善を推進している。具体的には、さらに、品質向上への次のステップとして、防錆効果を向上させる亜鉛溶射による鑄



金型遠心力鑄造機

鉄管の外表面塗装や鉄蓋の開閉を容易にしようとするガタつきを防止する「EVS（鉄蓋支持構造）」などの新技術も導入していく。

インタビュアーに応じた清野邦夫取締役製造本部長は「様々な品質向上技術への挑戦により、副次的に従業員の技術習得や品質管理に対する意識の向上にもつながった」と語り、「全てにおいて、きちっとした姿勢でものづくりできる企業風土とそれを支える人材の育成を目指したい」と抱負を述べた。

溶解工場



DATA

会社名：日本鑄鉄管株式会社
所在地：久喜市葛蒲町昭和沼1番地
所電：0480-85-1101
FAX：0480-85-6645
代表取締役社長：秋田真次
設立：昭和12年10月
資本金：18億5,500万円
従業員数：251名
事業所：東京事務所、北海道、東北、中部、九州の各支社、鉄蓋精整工場、ポリエチレン管工場、商品技術センター
事業内容：ダクタイル鉄管、ダクタイル鑄鉄異形管、各種、ダクタイル鉄蓋、ポリエチレン管（ガス用）、レジン製品、弁類・栓類、各種付属品、その他鑄鉄製品一式、水道管路施設工事、場内配管工事

南部 墨東建材工業株式会社

「今話題のベトナムには、すでに五年前に工場建設し進出済み」

墨東建材工業株式会社は、建設・建築用金属製品の製造を行っている。

その製品とは、どのようなものかとの問いに、田坂勝正代表取締役は、それは、建物の「化粧」のようなものだと言える」と答えられた。

当社四十五年間の施行実績を示せば、その優れた技術と製品の信頼性と共に、製品がどのようなものか理解いただけたと思う。

「大宮ソニックシティ」の外装アルミ工事他、「ムラヤマ装飾ビル」のステンレス鏡面パネル、「リーガロイヤルホテル早稲田」の玄関庇・幕板・天井、「キヤノン小杉」の天井・柱アルミパネル、「法



田坂勝正社長

年には、ベトナムに工場「VITE BOKUTO」を立ち上げ、「歌舞伎座」等のアルミ建材等は、この工場から現場に納められるまでになっている。

田坂社長の人となりを見ても、かたがたの阪急電鉄の創業者、小林一三は「成功の道は、信用を得ることである。どんなに才能や手腕があっても、平凡なことを忠実に実行できないような若者は、将来の見込みはない」と語っている。

田坂社長は、十八歳で就職した「すみだ建材」での三年間、平凡なことだけでなく、人の三倍、いや五倍も働き信用と信頼を得た。その時、人を使う難しさを、人情、人を扱う根性を学び、これらが、経営の基盤となったと語った。

さらに田坂社長の人となりを見ても、かたがたの阪急電鉄の創業者、小林一三は「成功の道は、信用を得ることである。どんなに才能や手腕があっても、平凡なことを忠実に実行できないような若者は、将来の見込みはない」と語っている。



リーガロイヤルホテル 玄関庇

DATA

会社名：墨東建材工業株式会社
本社：葛飾区東金町5-8-14
越谷支店・工場：越谷市七左町8-101-1
代表者：代表取締役 田坂勝正
創立：昭和43年10月31日
資本金：2,000万円
従業員数：40名
事業内容：建設・建築用金属製品製造

西部 株式会社プリンスホテル 埼玉・千葉エリア

「最高のおもてなし・久邇カントリークラブ」

株式会社プリンスホテル埼玉・千葉エリアは、昭和三十九年開場以来その伝統と品格が築かれてきた「久邇カントリークラブ」をはじめ、「武蔵丘ゴルフコース」「新武蔵丘ゴルフコース」「西武園ゴルフ場」千葉県の「大原・御宿ゴルフコース」をエリアとしている。

それら5ゴルフ場を統括している永関 勲執行役員埼玉千葉統括総支配人に、夫々のコースの特徴をお話いただいた。

「最高のおもてなし・久邇カントリークラブ」は会員制ゴルフ場で、飯能市の郊外に位置し、静寂たけよう自然の中、あたかも一つの庭園のように美しくレイアウトされた27ホール。奥武蔵の山並みを背景に、今なお武蔵野の面影を随所に残す美しい林間コースで、各ホールは林でセパレートさ



執行役員 埼玉・千葉統括 総支配人 永関 勲氏



久邇カントリークラブ 北9番ホール

楽しめる」そんな理念のもとに設計された戦略性豊かなコースです。

「西武園ゴルフ場」は、武蔵野の美しい松林に囲まれた狭山丘陵の一面に広がる交通の便に恵まれたコースです。

千葉県の「大原・御宿ゴルフコース」は、日本を代表するコース設計家井上誠一氏が最後に手がけたエキサイティングな18ホールです。四季を通して温暖な南房総の高台に広がるコースで、110のバンカーが配してあります。

なお、お話をいただいた永関勲氏は、昭和53年東京六大学野球秋季リーグ戦で優勝し、一学年下の岡田彰布氏（元阪神タイガース監督）と共にベストナインに選ばれ、その後プリンスホテル野球部第一期生として石毛宏典氏らと、プリンスホテルに入社したその人である。当然埼玉西武ライオンズの大ファンである。

DATA

ゴルフ場：久邇カントリークラブ
所在地：埼玉県飯能市平松470
電話：042-973-1192
開場：1964年7月29日
コース：27ホール、10,276ヤード、パー108
乗用カート：75台
他、武蔵丘ゴルフコース、新武蔵丘ゴルフコース、西武園ゴルフ場、大原・御宿ゴルフコース
事業主体：(株)プリンスホテル
執行役員 埼玉・千葉 統括総支配人 永関 勲



コバトン

埼玉県からのお知らせ

知事がアセアンを訪問

去る8月19日(月)～23日(金)、知事がアセアン2か国(ベトナム・タイ)を訪れました。

ベトナム・タイ両国要人と会談、本県との関係強化を図る

知事は、ベトナムにおいて計画投資大臣と会談し、昨年8月締結の「経済交流に関する覚書」に基づき、計画投資省内に本県企業専用の支援窓口を開設することで合意しました。タイにおいては、工業大臣と会談した後、タイ政府と「相互協力に関する覚書」を締結し、経済分野における交流促進に協力して取り組んでいくことを確認しました。さらに「タイ交通渋滞対策セミナー」を開催し、県内企業の優れた技術をトップセールスしました。その他、現地の県内企業を視察し、両国への進出企業の現状について理解を深めました。

ベトナム・タイ両国において、現地進出企業との関係強化のため、地ネットワークを設立

ベトナムでは現地日系企業等62社、タイでは79社の参加を得て設立しました。

また、両国において、ネットワーク参加企業及び現地政府要人、日系要人などが出席して、ネットワーク設立会・交流会を開催しました。

○問い合わせ先
県企業立地課 国際経済担当
(048-830-3779)



タイにおける「相互協力に関する覚書」締結の様子

「働きがいのある職場づくり」シンポジウム、社員の自己実現と企業の成長を目標として開催します。

埼玉県労働セミナー運営委員会(県・埼玉県経営者協会・連合埼玉)では、ワークライフバランスをはじめ、社員と企業がともに成長するためには何が必要なのかを探るシンポジウムを開催します。是非ご参加ください。

日時 平成25年12月4日(水)
14時～16時30分
会場 大宮ソニックスティ市民ホール

定員 200名(申込順・入場無料)

内容

基調講演
株式会社東レ経営研究所
特別顧問 佐々木 常夫氏
事例発表
ケイアイスター不動産株式会社
(本庄市)

協和界面科学株式会社(新座市)
詳細はHPを御覧ください。

http://www.pref.saitama.lg.jp/site/rodoseminar/foshi-symposium.html
○問い合わせ先
県勤労者福祉課 労働福祉担当
(048-830-4518)

学生の視点から中小企業の魅力をクローズアップ!

「彩の国はたらく情報館」において大学生が撮影した県内中小企業の動画を掲載します!

県では、魅力ある地元企業を就職活動中の学生等へ広くPRするため、県内中小企業の製造・販売現場やインターンシップ実習場面等を動画に撮影し、職業訓練やキャリア教育に関する情報サイト「彩の国はたらく情報館」(<http://www.ecity.ne.jp/hataraku>)などの県公式サイトに掲載しています。

このたび、就職活動中の学生と同じ視点から、中小企業の魅力をクローズアップするため、メディア論などを専攻している大学生等が撮影した動画を約3か月間連続して掲載します。

掲載期間
平成25年11月6日(水)
～平成26年2月4日(火)

撮影協力大学

早稲田大学、東洋大学、立教大学
※現在募集中のプロ撮影者による自

社の動画掲載を希望される企業は、以下のサイトをご覧ください。

http://www.pref.saitama.lg.jp/page/hataraku-dougakikyoyu-hosyu.html
○問い合わせ先
県産業人材育成課
(048-830-4607)

グローバル人材の採用を支援/無料職業紹介を開始



グローバル人材育成センター埼玉では、海外留学を経験した日本人学生や外国人留学生と県内企業を結びつけるため、この10月から無料職業紹介事業を開始しました。

無料職業紹介は、県内に本社、支社、営業所などがある企業が求めるグローバル人材と、求職中の日本人帰国留学生や外国人留学生を無料でマッチングするものです。

求人企業には自社の希望に合ったグローバル人材をピンポイントで紹介いたします。求職者には希望業種の求人情報を定期的に提供し、特に外国人留学生に対しては就労可能な業務をピックアップして紹介するよう努めています。

グローバル人材のマッチングを希望する企業はこの機会に求人情報の登録をお願いします。

http://www.ggsaitama.jp/information68/3/

○問い合わせ先
グローバル人材育成センター埼玉 (GGS)
(公財) 埼玉県国際交流協会内
(048-833-2995)

年末の資金需要に対応した県制度融資の御案内

事業資金(短期貸付)
賞与支払や仕入等のための短期運転資金として御利用いただけます。
利率は年1・1%以内(信用保証なし融資は年1・5%以内)で、限度額は2千万円です。
経営あんしん資金
最近3か月の売上や利益率が過去3年間のいずれかの同時期と比較して減少、又は減少見込みの場合に御利用いただけます。
利率は年1・7%以内、限度額は5千万円です。

借換資金

県制度融資の既往借入金がある方が新規運転資金を追加しつつ、毎月の返済負担を軽減したい場合に御利用いただけます。
利率は金融機関所定利率、限度額は1億円(既往借入金、新規運転資金及び借換え時に支払う信用保証料相当額の合計)です。

※融資にあたっては金融機関及び信用保証協会の審査があります。
※短期貸付を信用保証なしで御利用いただく場合を除き、別途、信用保証料が必要です。

○問い合わせ先
地元商工会議所若しくは商工会
又は
県金融課 企画・制度融資担当
(048-830-3801、3803)

残余財産503万円を埼玉県へ寄附し、埼玉音楽文化協会は解散いたしました。 長らくのご愛顧誠にありがとうございました。

埼玉音楽文化協会解散についてのお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より埼玉音楽文化協会(埼玉音協)の活動に対しまして、格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昭和40年に創立いたしました埼玉音協は、例会収入の減少から赤字を計上、将来を展望しても、会員増強、例会収入の増加は期待できないことから、平成24年12月19日開催の臨時総会において、解散することが満場一致決議されました。

その後、解散に向けた諸準備を進め、9月20日に残余財産(5,038千円)を埼玉県の3基金と4事業へ寄附し、9月30日に解散いたしました。

ここに解散のご報告を申し上げますとともに、永年にわたるご支援、ご協力に対し衷心より御礼申し上げます。



上田清司埼玉県知事に寄附目録を贈呈する藤池会長(左)



埼玉県の3基金と4事業に5,038千円を寄附

契約法施行前からの 契約の「不更新」合意は

弁護士 安西 愈

労働法

改正労働契約法による無期転換申込権の発生する二以上の有期労働契約期間が通算して、「五年を超える」という場合の起算日については、改正法附則第二項で「平成二五年四月一日の規定施行の日の前の日が初日である期間の定めのある労働契約の契約期間は、通算契約期間には、算入しない。」とされている。これは、改正法施行前に開始した有期契約については、施行日の四月一日以降に従前の契約を更新したとすれば、その時を通算契約の初日として、そこから起算して適用するということがある。

ところで、従前からの有期契約につき、企業としては景気変動の雇用調整が予想される職種等において、無期転換申込権が発生しないような方策の必要から、法施行後「今後五年間を超えては更新しない。五年間の通算雇用期間の終了日をもって本契約は終了する。」といった特約をした場合の法的な問題がある。

そのような同意が自由意思によりなされた場合には、「合意による期間満了」であるから雇止めには該当せず、「解雇の問題」は生じない。判例でも、原告らに対し、説明会を実施して、原告らを含むパートタイム社員との間の雇用契約は、平成一四年一二月末日をもって満了となり、その後の継続

雇用はしないので、残りの有給休暇を全部使って欲しい」など「本件雇止めについて事前に会社からの十分な説明が行われ、その際配布された最後の一年間の雇用契約書には、雇用期間は平成一四年一月一日から同年一二月末日までと、雇用期間が経過した後は雇用契約を更新しないことが明記され、パートタイム労働者はいずれもこの雇用契約書に記名押印してこれを会社に提出し、本人らも副本を所持している以上、本件雇用契約を契約期間の経過と同時に終了させる合意が成立しており」、被告と原告らとの間においては、各雇用契約を終了させる旨の合意が成立していたとすべきである。(平成一七・一・三三大阪地裁判決)

等不更新の合意は有効とされている。これに対し、従前から何回も更新されたり、使用者の言動によって更新されるものと期待することについて、「合理的な理由がある」(労働法一九条一号)という状態になつている場合には、「不更新条項は一般に解雇法理を潜脱するので、公序良俗に反して無効」という見解もある。しかし、判例は一旦発生した雇用継続の期待も合意により消滅することを認め、使用者が十分な説明・情報を提供した上、不更新条項の意味を理解して結んだ「不更新の合意」は有効であり、期間満了で雇用は終了する(平成二四・九・二〇東京高裁判決)としている。問題は更新を反復しているケースで、不更新の合意ができないときである。その場合には、企業として雇止めを必要とする合理的な理由がない限り更新せざるを得ない。そして、今後の更新の度に不更新合意に向けた協議をすべきことにならう。

日本経団連 提言・提案など

「2013年度経団連規制改革要望」を公表
 12分野202項目にわたる要望を取りまとめ

経団連は10月15日、「2013年度経団連規制改革要望」を公表し

主な規制改革項目

健康・医療
<ul style="list-style-type: none"> 医療機関—在宅間の遠隔診療に関するガイドラインの作成 遠隔診療における介護従事者の医療機器（バイタルセンサー等）操作可能化、遠隔服薬指導および調剤薬剤の民間搬送の可能化 外国人医師の受け入れ拡大と、あらゆる国籍の在留外国人への診療の可能化 ヘルスケア機器等の効果・効能をうたう機能性表示の容認 健康食品等の効果・効能をうたう機能性表示の容認等
雇用・労働
<ul style="list-style-type: none"> 企画業務型裁量労働制の見直し、生産性向上に資する労働時間制度の創設 フレックスタイム制の見直し 労働契約申込みみなし制度や日雇派遣労働者に関する原則禁止など、2012年の改正労働者派遣法により新たに導入された制度の廃止もしくは見直し等
農業
<ul style="list-style-type: none"> 農業生産法人の構成員要件の緩和（2分の1以上の議決権取得容認） リース方式で農業に参入した法人の農地取得の容認 農業経営関連施設（事務所、加工施設、直売所等）の農地転用規制の緩和等
創業・IT等
<ul style="list-style-type: none"> 行政機関が保有するデータの民間による利用促進の早期実現 サービスロボット普及促進のための安全規格の策定 独占禁止法9条（一般集中規制）の廃止 区分所有建物の建替え決議要件の緩和 建物の賃貸人が更新拒絶・解約申し入れを行う際の正当事由の拡大 低層住居専用地域へのコンビニエンスストア出店の可能化 火力・風力・地熱発電所の建設にかかる環境アセスメントの迅速化・合理化 熱利用にかかる下水道利用規制、揚水規制の緩和等
貿易・投資等
<ul style="list-style-type: none"> 訪日外国人観光客に対するビザ発給要件の緩和 高度外国人材ポイント制における永住許可要件の緩和（5年→3年） ODAの機動的な活用によるインフラ輸出の推進 日本が締結する全EPAで特定原産地証明への自己証明制度の導入 医療機器、電気用品、食品添加物等の基準の国際整合化等

た。要望は、政府の規制改革会議が今年7月から第2期の活動を開始し、10月に規制改革提案の集中受付を実施したことから、経団連全会員企業・団体および在日欧米企業等へのアンケート調査をもとに取りまとめたものである（主な

項目は図表を参照）。わが国経済は、安倍政権による大胆な金融政策、機動的な財政政策、さらには今年6月の「日本再興戦略」策定などにより、長きにわたる低迷から再生への動きが見え始めたものの、依然として残された課題は多い。とりわけ規制改革は、民間の創意工夫の発揮を通じてイノベーションを推進するとともに、高コスト構造を是正し自

由で円滑な事業環境を整備するうえで極めて重要であり、わが国成長戦略の中核をなすものである。政府の規制改革会議においては、6月に閣議決定された「規制改革実施計画」が確実に実行されるようフォローアップを徹底し、必要に応じて内容の充実、実施の前倒し等を図るとともに、健康・医療、農業、雇用・労働、貿易・投資、創業・IT等の重要分野において、

現行の規制・制度をゼロベースで見直すことが求められている。12分野202項目にわたる今回の規制改革要望は、経済成長の主たる担い手である企業が事業活動を行う際の障害として改革を求めらるものであり、わが国政府には、全力を挙げて取り組まれることが強く期待される。

事業だより

一〇月一日～十一月三〇日

- ◆一〇・一 第七回トップセミナー (ソニックステイ)
- ◆一〇・三 第三四次小笠原洋上研修 (八日まで、父島往復)
- ◆一〇・二一 理事会・臨時総会 (パレスホテル大宮)
- ◆一〇・二三 第三回ウーマノミクス推進委員会 (ソニックステイ)
- ◆一〇・二八 新入社員フォローアップ研修 (ソニックステイ)
- ◆一一・六 埼玉大学との合同特別公開講座第二講 (ソニックステイ)、小笠原洋上研修第四回集合研修 (ソニックステイ)
- ◆一一・七 第一回産業教育委員会 (新座総合技術高校)
- ◆一一・八 北部地区協議会 (富士電機機器制御(株)吹上工場)
- ◆一一・一三～二〇 平成二五年 度アメリカ社会経済視察(米国)
- ◆一一・二二 会員親睦ゴルフ大会 (武蔵カントリークラブ豊岡コース)
- ◆一一・二五 第四回ウーマノミクス推進委員会 (ソニックステイ)
- ◆一一・二六 西部地区協議会(マスタック)
- ◆一一・二九 インターナショナル成果報告会(ソニックステイ)



第196回

世界遺産の富士山頂にも初冠雪が。猛暑の夏から一気に秋が消え、冬が到来した感じがする。連続発生する台風も伊豆大島を襲い、この原稿執筆中にも、強烈な27号台風がまたまた日本を襲おうとしている。四季の変化に富んだ日本は、一体どこにいったのか？

こんな時にこんな事を!

エッセイスト 和宮英之

▼話は変わるが、「道徳教育」が義務教育で正規授業に採り入れられそうだ。教科書には「こころのノート」が使用され、「児童生徒が、生命を大切にすることや他人を思いやる心、善悪の判断などの規範意識等の道徳性を身に付けることは、とても重要です」と文科省は発表している。しかし、道徳教育をすすめる中には多々問題もあり、実に難しいと言わざるを得ない。教える先生方の指導力、子供たちへの評価基準方法、家庭教育や地域教育との連携性などである。これらは、今日までの教育主導が「考える教育」ではなく、「覚える教育」だった弊害の何物でもないと考えるが、読者諸氏は如何であろうか？ 偏重重視教育の産物ともいえるだろう。

人では生きてはいけない。思いやりの心を大切にして欲しいし、二つの目で良く見て、二つの耳で良く聞き、二つの鼻で空気を嗅ぎ、脳裏に伝達して良く考え、一つの口でしっかりとした軸のぶれない自分の考えを、相手にキチンと伝える能力を是非とも身に付けてもらいたい、と願うのは私だけだろうか？

▼講演会後の雑談で、やはり道徳などは家庭教育中心で行うべきだなどの意見も多く出たが、何故家庭で行われなくなったのかとの議論で、給料の銀行振込制度の弊害・親爺の威厳の欠如・単身赴任制度の横行・核家族化現象・傾聴力や伝達力の低下などなど。

社会人となっても「考える能力不足」と、「視野の狭さ」「議論の幼稚さ」などが気になってならない。「こころ」は、人体の胸部分ではなく、「脳裏」に間違いなく存在していると思われる。▼最近「自責化と他責化を考える」というテーマで講演を行った。それは、何か事が起こると、「その要因などを他人や筋道を外した他事に、責任を転化するケースが実に多くなっている」他責化。その前に「果たして自分はどうかだったのか」と、先ず自分に転化して十分に熟慮する。自責化。この重要性を認識してない気がする。

全国ネットの人材情報で、出向・移籍等の支援!

お気軽にご相談ください

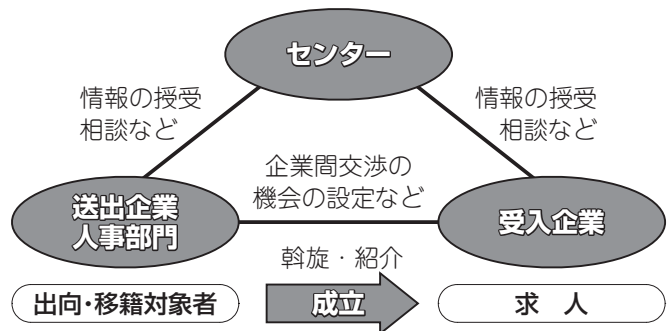
企業間の人材マッチングをサポートしています。

信頼と安心

経済・産業団体と厚生労働省の協力で設立された公益法人です。

無料

情報の提供、相談、あっせん費用はかかりません。



●お問い合わせ

☎048-642-1121 (土・日・祝日休)

http://www.sangyokoyo.or.jp/

出向・移籍の専門機関



公益財団法人 産業雇用安定センター

埼玉事務所

★平成二五年度第二回地域社会問題委員会

日時 二月三日(火)一三時三〇分～一六時三〇分

会場 ソニックシティ四〇三・四〇四

内容 障害者雇用促進セミナー

講師 厚生労働省職業安定局 高齡・障害者雇用対策部障害者雇用対策課 調査官 松永 久氏

事例発表 (株)ハロー(日立金属(株)特例子会社) 代表取締役 齊藤治久氏

(株)ヤオコー 人事部担当部長 山田昌宏氏・人事担当職員 適応援助者 山内桂子氏

日時 二月五日(木)一三時三〇分～一六時

会場 ソニックシティ四〇三・四〇四

内容 あなたの会社が生き残るための最強のリスク管理

講師 中島経営法律事務所代表 弁護士

★中部地区協議会

日時 二月六日(金)一四時～一六時二〇分

会場 A G S (株)

内容 B C P (事業継続計画)に関する事例発表・データセンター「さいたまiDC」見学

日時 二月九日(月)一三時三〇分～一六時

会場 ソニックシティ四〇三・四〇四

内容 無謀なチャレンジが社会を変え、混乱の時代を切り開く真のリーダーシップ論

講師 青山社中(株) 代表取締役(筆頭代表) C E O 朝比奈 一郎氏

日時 二月一〇日(火)一三時三〇分～一五時一〇分

会場 富士重工工業(株)埼玉製作所(産業機器カンパニー)

内容 工場見学

日時 二月一〇日(火)一四時～一六時

会場 ソニックシティ四〇三・四〇四

内容 二〇一四年の世界経済、日本経済を展望する

講師 (株)三菱総合研究所 主席研究員 チーフエコノミスト 武田洋子氏

日時 二月一六日(月)一三時三〇分～一六時

会場 ソニックシティ四〇三・四〇四

内容 二〇一四年の世界経済、日本経済を展望する

日時 二月一四日(木)一四時～一六時

会場 ソニックシティ四〇三・四〇四

内容 高齢者市場開拓の視点～一〇〇兆円市場が求める商品・サービスとは

講師 ニッセイ基礎研究所 生活研究部門 准主任研究員 前田展弘氏

日時 二月一六日(月)一三時三〇分～一六時

会場 ソニックシティ四〇三・四〇四

内容 二〇一四年の世界経済、日本経済を展望する

講師 (株)三菱総合研究所 主席研究員 武田洋子氏

日時 二月二四日(火)一四時～一六時

会場 ソニックシティ四〇三・四〇四

内容 なぜ、あの会社は顧客満足度が高いのか？オーナーシップによる顧客価値の創造

講師 武蔵大学経済学部 教授 黒岩

日時 二月二四日(火)一四時～一六時

会場 ソニックシティ四〇三・四〇四

内容 二〇一四年の世界経済、日本経済を展望する

講師 (株)三菱総合研究所 主席研究員 武田洋子氏

日時 二月二九日(木)一三時三〇分～一六時三〇分

会場 埼玉県立浦和図書館

日時 二月二七日(月)一四時～一六時

会場 ソニックシティ

内容 もし日本の経営者がドラッカーの「マネジメント」を真剣に実践したら、もう一つのものしどら

講師 神戸国際大学教授 中村智彦氏

日時 二月二七日(月)一四時～一六時

会場 ソニックシティ

内容 講演「人を動かすトップの流儀」経営者が学ぶホスピタリティの大切さ」懇親パーティー

講師 元ザ・リッツ・カールトン・ホテルカンパニー日本支社社長 高野 登氏

日時 二月二九日(木)一四時～一六時

会場 ソニックシティ四〇三・四〇四

内容 元リクルートの伝説の営業マンが語る、売れる営業は満足より感動。～一三〇〇社以上の売上を増大させた営業の達人が教えます

講師 (株)イノベーション 代表取締役 富田直人氏

日時 二月二九日(木)一五時～一七時

会場 富樫 美津雄(旧)村井 宏之

内容 執行役員所長

講師 小関 範男(旧)須永 敏雄

日時 二月二九日(木)一五時～一七時

会場 三菱電機ホーム機器(株)

日時 二月二九日(木)一五時～一七時

会場 富樫 美津雄(旧)村井 宏之

内容 執行役員所長

講師 小関 範男(旧)須永 敏雄

日時 二月二九日(木)一五時～一七時

会場 三菱電機ホーム機器(株)

内容 執行役員所長

講師 小関 範男(旧)須永 敏雄

日時 二月二九日(木)一五時～一七時

会場 三菱電機ホーム機器(株)

内容 執行役員所長

講師 小関 範男(旧)須永 敏雄

日時 二月二九日(木)一五時～一七時

会場 三菱電機ホーム機器(株)

内容 執行役員所長

講師 小関 範男(旧)須永 敏雄

日時 二月二九日(木)一五時～一七時

会場 三菱電機ホーム機器(株)

会員の動き

〈新入会の「案内」〉

(株)アップル

代表取締役 高橋 誠一

さいたま市大宮区大成町二二七三

電話〇四八―六六一―七三五五

(資)一千万円

(従)二四三名

不動産賃貸管理業

(株)中野組

代表取締役 中野 憲秀

春日部市谷原二二二一九

電話〇四八―七六一―二八一

(資)二千万円

(従)二七名

総合建設業、一般土木

(株)ニューイースト

代表取締役 三浦 戴子

〈代表者変更〉

志木市上宗岡三一六一―

電話〇四八―四七二―〇〇八七

(資)一千万円

(従)六〇名

一般運送業、商品管理

野口倉庫(株)

代表取締役 野口 英徳

戸田市早瀬一―二四一―

電話〇四八―四二二―〇五八一

(資)三千四百万円

(従)七〇名

営業倉庫業

平和産業(株)

代表取締役 大竹 功一

さいたま市南区文蔵四二二―

電話〇四八―六四一―七四〇一

(資)一千万円

焼結含油軸受(粉末冶金製品)

〈住所変更〉

富樫 美津雄(旧)村井 宏之

前澤工業(株)埼玉製造所

執行役員所長

小関 範男(旧)須永 敏雄

三菱電機ホーム機器(株)

取締役社長

田代 正登(旧)秋山 雄二

羽生積水(株)

(旧)羽生プラスチック(株)

入間方ス(株)

入間市扇台一五―二五

(旧)入間市高倉三六―七

(株)NTTファシリティーズ

さいたま市中央区新都心9番地さいたまメディアアウエーブ4F

(旧)さいたま市中央区新都心五二ボルト小池ビル)

三州製菓(株)

春日部市銚子口九九九

(旧)春日部市豊野町二八一―三

埼経協ニュース三七七号

2013年11月21日発行

さいたま市大宮区桜木町一七五八七

ソニックシティビル九階

発行所 法人 埼玉県経営者協会

発行人 根岸茂文

編集人 宮田信久

電話〇四八―六四七―四〇〇

印刷所 望月印刷株式会社

さいたま市中央区阿弥五八―三六